

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

紀南6高校ら

# 市長に改善求め陳情

## 田辺工業高近くの市道

紀南6高校の生徒指導部長 通学に危険だとして、真砂充 連絡協議会などは5日、田辺 敏市長に改善を求める陳情を 市あげほの田辺工業高校近 した。 くにあるJR紀勢線架道橋下 の市道について、道幅が狭く T A生活指導連合会、地元あ



げほの町内会の3者で行った。この3者による陳情は4年目だが、田辺工業高校と地元4町内会による活動を含めると18年目になる。

陳情では、架道橋の下は幅員が3倍しかなく、生徒の登下校時に混雑する。事故故に至っていないものの、毎年数件の自転車と自動車の接触が発生して危険な状況にあるとして、拡幅または歩行者・自転車専用道の設置を求めている。

真砂市長は「現状については認識している。事業費の面で市単独で行うのは難しい」と説明。「JRと詰めないとはっきりしないが、2014年度中に費用や問題点など具体的な方向を探りたいと思う」と述べた。

真砂充敏市長(左)に陳情書を  
手渡す田辺工業高校の宮本和幸  
校長(右)と、田辺市新屋敷町で